



野のはな



金城学院大学生活環境学部
(家政学部)

同窓会会報
第1号

発行：2002年9月1日
〒461-0011 名古屋市東区白壁4-64



同窓会紙創刊 おめでとう!

生活環境部長 藤城 榮一



家政学部同窓会発足

同窓会会長 荒川 洋子
(第1回卒業生)

同窓会紙創刊おめでとうございます。生活環境学部全教職員を代表して心からお祝い申し上げます。

ご承知の方が多くは存じますが、皆様が学ばれた家政学部家政学科および生活経営学科は、本年4月に発足しました生活環境学部へと発展的に解消されました。

「家政」という言葉が消えたことについて、皆様の心の中には、「寂しい」という思いと、「やむを得ない」という思いとが交錯しているかも知れません。私たち教員としては、新しい学部の発足が、家政学部の更なる発展を目指した結果であることを皆様にご理解いただき、これまでの家政学部と変わらぬ、あるいはより一層のご指導とご鞭撻をお願いしたいと考えております。生活環境学部は家政学部をご卒業された皆様にとっても「心のふるさと」でありたいと思っています。いつでも気軽に大学にお立ちよりください。お待ちしております。

最後に皆様のご健康とご多幸、ならびに同窓会の発展を祈っています。

2002年6月19日

● 略 歴 ●

1976年4月 金城学院大学家政学部に住居学専任教員として着任。

2002年4月 生活環境学部学部長に就任。

野のはな創刊にあたり題字をお願いしました。

1962年、私達の家政学部が創設され早や31周年を迎え、卒業生は4000人を越えました。2001年3月、今井光映前学長が退任されました折り、先生のご念願でありました家政学部同窓会を立ち上げようという声が上がりました。準備委員会は6ヶ月という短い期間ではありましたが、2001年10月27日、第1回設立総会をもって正式に発足することが出来ました。

当日は懐かしい恩師、先生方、卒業生170人の出席者があり、大変だった総会準備の苦労も、委員や回生幹事の方々、卒業生との絆がさらに深まり、和やかに進められたこととうれしく思いました。

会則作成、卒業生からの委員、回生幹事の選出、住所確認と発送、会費徴収など多くの仕事を先輩、後輩との交流を新たに深め合う中、先生、みどり野会からのご助言、ご指導を賜りながらの設立でした。会員皆様の大きな期待を担って発足しましたこの会が、母校の発展と共に、充実した同窓会を示すことが私達の願いであります。

今後同窓会が、お互いの交友と教養を高める場として存在し、役割、活動など積極的に進められ、名簿作成、会報の発行、講演会など多面的な活躍が望まれます。さらには、単に同窓生集まりの場とするだけでなく、現代社会にあった活動を方向づけていかなければなりません。数々のお力添えに心より御礼申し上げますと共に、皆様の積極的な参加とご協力をお願い致します。